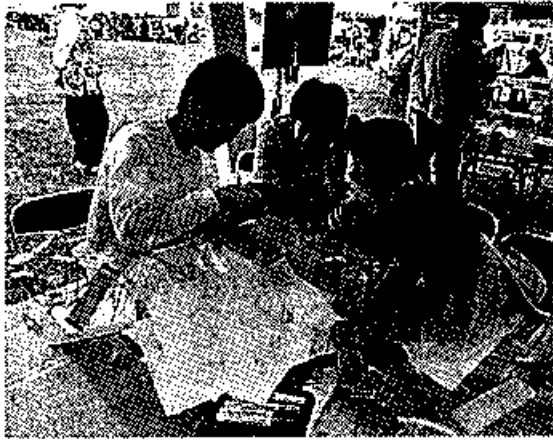


「P.あせろべ」に出店

日本技術士会
中国本部 青年技術士交流委

(公社)日本技術士会中国本部(近藤英樹本部長)の青年技術士交流委員会は10月29日と30日の両日、広島市中区基町の中央公園芝生広場で催された国際交流フェスティバル『P.あせろべ2011』に参加、ブースを出店した。

「P.あせろべ」とは、「P



プラスチックのどんぼつくり

EACE&LOVE」をテーマ字読みにしたもので、広島在住の様々な国籍の人々が、ステーションやブースなどを中心に食や遊びを通して、お互いの文化に触れ、共に楽しむことを目的としたイベント。青年技術士交流委員会は、社会貢献活動の一環として、平成20年からイベントに協力している。

ブースでは、技術士の活動を紹介したパネル展示や、日本の酒造り技術の紹介を兼ねた日本酒販売に加えて、プラスチックどんぼつくり、待機電力クイズ、橋めぐりクイズ等を実

施。2日間とも雨となったが、多くの親子連れ等で賑わいを見せた。

松井一實広島市長も技術士会のブースを視察。青年技術士交流委員会の高木周一委員長は、今年8月に親子連れを対象に催した「橋めぐり」などの説明を行いながら、「広島には古い被爆橋梁や土木遺産に指定された雁木が多く残っており、これらの古いまち並みを保存し、次の世代に伝えていきたい」と話した。これに対して松井市長は「とても有意義な活動」と評価。また、P.あせろべ実行委員長の山本誠広島市議会議員も「こうした若い世代のために、もっと広島のみちについて語り合う場があれば」と話していた。